

# いけだ

No.119

議会だより

平成30年7月25日発行

深緑のなか郷をあるく!!



5月20日開催  
北アルプス展望ウォーク

## 6月定例会

一般会計補正予算 .....	P 2~3
町政をたず（一般質問） .....	P 7~11
委員会・議会活動レポート .....	P 12~15
町民の皆さんに聞く .....	P 16

## 一般会計補正予算

## の設計監理、農業振興支援など

## 1億3721万8千円を可決



福社会館会議室

福社会館改修設計監理委託料  
150万円

財源 一般財源 150万円

- 専門学校開設に伴う施設改修のため

町立美術館修繕ほか  
290万1000円

財源 一般財源 290万1000円

- 展示室天井改修とトイレの改修
- 展示用ケースの購入



展示室天井工事



松くい虫被害木の現状

松くい虫被害対策事業  
226万8000円

財源 一般財源 226万8000円

- 八代線、登波離橋線の被害木の伐採

# 町道旧県道線の拡幅、福祉会館改修

## ●6月定例会の概要

6月定例会は、6月8日～19日まで開かれた。

承認7件、議案6件、同意1件を審議し全て可決した。陳情請願4件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

## 主な目玉事業は〰〰

### 道路改良事業 4000万円

財源

一般財源 400万円

地方債 3600万円

- 地域交流センター南西の町道旧県道120mの拡幅と、それに伴う車庫などの補償料



拡幅される町道旧県道線

### 農業振興事業 1685万9000円



コンバイン

財源

産地パワーアップ事業補助金

1412万3000円

経営体育成支援事業補助金

273万6000円

- 米乾燥施設、田植え機、コンバインの補助と経営体育成支援

ここが  
聞きたい

# 予算審査

質疑

## 予算決算特別委員会 ～補正予算を審議～

### 企画政策課

福祉会館改修経費は

**問** 福祉会館の改修経費は、返済してもらえないのか。文書で確認するののか。

**答** 賃貸契約に保証人を入れ、その旨、町長名で公文書として依頼文書を提出してある。

**問** 設計監理委託料の150万円の根拠は。

**答** 参考見積りで工事費が1000万円と出ていたので、その額に一定率を掛けた。あくまでも目安である。

公有財産登記設計委託料は

**問** その内容は

**答** 旧北保育園境界線の確認経費である。民地との境界トラブルだけでなく、今後の旧北保育園のあり方を検討するうえでも必要なものである。



### 総務課

看板劣化の調査は

**問** 町内にはさまざまな看板があるが、劣化している箇所が見える。更新基準などはあるのか。

**答** 三丁目交差点の標識看板は、道路占用許可更新の時期で、安全確保のため撤去する。更新基準はないが調査を行う。



撤去される三丁目交差点看板

### 建設水道課

道路の安全対策は

**問** 太田医院西側交差点は、交通事故が発生し、非常に危険で安全対策が必要と思われるか。

**答** 夜は表示板の回りが点滅する器具（サンフラッシュャー）を付け、道路面に「止まれ」の文字を入れ努力している。



注意：ここは一時停止です

### 生涯学習課

町立美術館安全点検は

**問** 展示室天井の剥がれや男子トイレの故障などは、危険なので補正予算ではなく、専決事項でやるべきではないか。日頃の施設チェック体制を強化し早々に対応していただきたい。

**答** 安全管理から必要なものは専決も視野に入れる。危険箇所など、再度点検をしていきたい。



美術館経年劣化による改修

### 産業振興課

農業振興の補助金は

**問** 産地パワーアップ事業補助金と経営体育成支援事業補助金の違いは。

**答** 産地パワーアップ事業補助金は、現金購入に対する金額の2分の1を助成する事業。経営体育成支援事業補助金は、融資主体型、借り入れをして購入する金額に3割の助成をする。

共に認定農業者、各種法人が対象。松くい虫の伐採は

**問** 即急に松くい虫の整備計画を進めていかなくてはいけないと思うか。

**答** 現状は作業員も少なく経営計画をたてないと国の助成ももらえない。今年、新池田北部地区が立ち上げて進めていく。南部にも協議会があるが、作業員不足で計画策定に至らない状況である。県とも協議している。

ぶどうの耕作者は

**問** 農業農村整備管理費鶴山地区ワイン用ぶどう畑の3.7haは大変広い耕作面積だが、耕作者はいるのか。

**答** 1名が決定し希望者もいる。垣根（支え）や苗の補助を行い、耕作者に負担が少ない形で進めていきたい。

ものの計画的に進めていける状況ではない。

# 本会議質疑・討論

**議案** (本会議質疑) 承認  
**議案** 平成29年度一般会計補正予算  
**質** 問 減債基金に2000万円積み立ては、なぜか。  
**答** 各課で余剰金が積み上がったものである。  
**問** ふるさと応援寄付金が1550万円減額はなぜか。  
**答** 返礼品の過当競争を防ぐため、返礼率を30%以内に収めることになったためである。

**議案** (本会議質疑) 承認  
**議案** 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算  
**質** 問 基金繰入金4000万円の減額はなぜか。  
**答** 国から療養給付費負担金や財政調整交付金が見込みより多く入ったため、基金を取り崩さずに済んだ。

議案討論 〈平成30年度池田町一般会計補正予算〉

**反対です** 薄井孝彦 議員  
 福祉会館の設計監理委託料150万円は、専門学校に対する町民の理解が深まるよう時間をかけて検討すべきと考え、賛成できない。また、多額の借金をしてきた留学生が、借金を返すため犯罪に手を染めた例などがあり、現状では賛成できない。

**賛成です** 矢口 稔 議員  
 農業農村整備管理費として約7千万円が計上され、ワイン用ぶどう圃場拡大の経費が含まれている。今後ワインの産地として、また、ワイナリー建設に向けての大きな一歩である。コミュニティ助成金は、吾妻町地区の舞台車輪更新と二丁目地区自主防災 **守りたい伝統文化** 会への防災備品の整備であり、伝統文化の継承と安心安全な町づくりにつながるものである。また、長年の懸案事項であった町道旧県道線の拡幅工事も含まれている。以上のことから本議案は賛成すべきと考える。



**反対です** 服部久子 議員  
 設計管理委託料の150万円は、福祉会館改修に伴うもので、学校運営が不確実であり、改修に町税で前払いすることに不安が払拭できないので反対する。

**議案** (本会議質疑) 議案  
**議案** 福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例  
**質** 問 福祉会館は取り壊す予定の施設だが、利用したい人についてなぜ公募制にしなかったか。  
**答** 公共施設なので公募制にしなかったことは配慮が足りなかった。  
**問** 福祉会館廃止について町民に説明がないという声があるが。  
**答** 3月に2回住民説明会を行っている。利用者にも説明したという認識でいる。  
**質** 問 福祉会館利用者が交流センターの利用で競合し、活動をやめてしまうことにならないよう配慮してもらいたい。  
**答** 各施設の申込みは先着順になっているが、充分に配慮していきたい。



福祉会館会議室

議案討論 〈町福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について〉

**反対です** 薄井孝彦 議員  
 日本アルプス国際学院については、町民の疑問・不安の声も多く聞く。ここは町民の理解が深まるよう時間をかけて検討すべきと考え、本議案に反対する。

**賛成です** 矢口 稔 議員  
 この案件は様々な町の調整の中で進められてきている。説明会もある程度の回数を重ねている。福祉会館は町の将来的な計画では、取り壊される施設である。町の新しいチャンスともとらえられる。説明において、今後もしっかりと対応していただくことの確認がとれた。よってこの議案に対して賛成すべきと考える。

**反対です** 服部久子 議員  
 議員や住民に対する説明会で、学校の理念や運営説明を経営者から聞けなかった事や、運営が確立されていない事などが不安である。また、福祉会館改修や県安曇養護学校寮の買い取りと改修費を町が立て替える事に納得できないので反対する。



# 主な議案の説明と 審査結果

6月定例会  
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	倉科栄司	横澤はま	矢口稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	櫻井康人	立野泰
承認	町税条例の一部を改正する条例 平成33年1月から住民税非課税の範囲を125万円から135万円に引き上げるなど	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	国民健康保険条例の一部を改正する条例 国保税の減額に係る課税限度額を58万円に引き上げる改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	平成29年度一般会計補正予算 15事業を30年度に繰り越す	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算 国庫支出金増額のため基金の繰入金4000万円を減額	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	平成29年度下水道事業特別会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	北アルプス広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例 31年度開設予定の専門学校に貸借するため福祉会館の行政財産としての用途を廃止する	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案	体育施設設置条例の一部を改正する条例 弓道場移転建設に伴い名称、位置を定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	町道の認定 和合団地東の宅地6区画のため町道の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度一般会計補正予算 1億3721万8000円を追加。福祉会館改修工事のための設計監理委託料や農業振興事業、農業農村整備管理費など追加	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案	平成29年度（繰越）池田小学校大規模改修工事第5期請負契約の締結 (契約者) 松本土建・松沢ガラス特定建設工事共同企業体	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	長野県池田工業高校への支援に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 振興文教委員会 報告

●陳情5号 長野県池田工業高校への支援に関する陳情書

**意見** 池工生には地域交流センターの模型を作成していただいた。今後、椅子の製作もお願いしていると聞く。高校再編の中でも強く存続を望む町をあげ今まで以上に支援をお願いする。

●請願6号 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書

●請願7号 国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願書

●請願8号 「へき地教育振興法に鑑みへき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

審査結果 全員賛成で採択

# 7議員が町政をたただす!



質問者	質問事項
横澤 はま 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿、食生活改善の取り組みについて</li> <li>・魅力ある観光地域づくりについて</li> </ul>
倉科 栄司 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化の対策と取り組みについて</li> <li>・A E Dの設置状況と使用について</li> </ul>
服部 久子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの貧困の実態調査を</li> <li>・道徳教育について</li> <li>・会染保育園の建設を早急に</li> <li>・専門学校開設について</li> </ul>
薄井 孝彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力を高めるため防災士の活用を</li> <li>・町水道資源の保全対策を</li> <li>・ハーブセンター、ハーブ園の充実に更なる施策を</li> </ul>
大出 美晴 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域ワイン特区を取得した今、町が考える振興政策は</li> <li>・地域子どもたちのスポーツクラブのこれからは</li> </ul>
矢口 稔 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の広報戦略の進捗状況について</li> <li>・日本で一番美しいまちづくり推進について</li> <li>・格差の拡大と社会的損失について</li> </ul>
櫻井 康人 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の居場所づくりの推進を</li> <li>・人口減少による町政運営上の問題点はなにか</li> <li>・地域に存在する隠れた文化遺産の掘り起こしを</li> </ul>



健康長寿・食生活改善の  
取り組みについて

横澤 はま 議員

【健康福祉課長】「朝ご飯を食べよう」で、保健指導・栄養指導を実施

**問** 多様な暮らしに対応した食育の取り組み（楽しく共食）の施策は。  
**答** 食育月間に合わせ、町内11カ所に食育コーナーに「共食・朝ご飯」の大切さの資料を掲示し、啓発に努めている。  
**問** 主食・主菜・副菜を揃えたバランス食や積極的な野菜・果物摂取、高齢者の低栄養予防、減塩対策など、生活習慣病予防や栄養改善に向けた食育の推進は。  
**答** 保健指導員や健康教

室、各種体操教室、乳幼児検診時などでリーフレットや食育レシピ集を活用し、食育を推進している。尿中の推定食塩摂取量検査の結果は、検診と合わせ保健指導を行う。  
**問** 食の循環や環境を意識した食育の推進は。  
**答** 食品ロスの削減は、関係機関や保健センターでの会議などで依頼している。  
**問** 町民と連携・協働の食文化継承の食育推進方針と今後のレシピ集作成の方向性は。  
**答** 食文化に特化したレシピ集作成は、平成32年度の重点テーマ「池田の食を知ろう」となっており、子ども子育て会議の中で研究していく。  
**問** 「子どもの困窮」は、健康状態がよくないという命と直結した深刻な問題である。「自分を守れ！」をスローガンとした美しい町づくりを提案するが。  
**答** 現在、スローガン「行ってきます！のその前に、しっかり食べよう朝ごはん」を懸垂し、関

係機関や団体でさまざまな活動を通し食育を推進している。

**問** 魅力ある観光地域づくり興計画の進捗状況は。  
**答** 創造館に接続された展望風呂の開発計画が提示されており、今しばらく注視しながら本計画の策定をしたい。

**問** 野外ステージは町の観光を発信する重要な施設である。その活用と設備整備ができないか。  
**答** 音響システムや設備投資などの財源が必要で、現在は実施する予定はない。



観光発信の地・野外ステージ

**問** ごみ減量化に向け、現在の取り組み状況は。  
**答** 減量化に向け広報への掲載、チラシの配布、自治会への出前講座に職員が講師として出席している。新たに食べ残しを減らす運動の推進を図るチラシの配布や、生ごみ減量化のため、台所三角コーナー用水切りネットの全戸配布を実施した。  
**問** 池田町と立地条件が似た自治体で当町よりごみの排出量が少ない自治体や、先進的な取り組みを展開している自治体へ職員を研修に派遣する考えは。  
**答** 独自の取り組みで成功している自治体の事例は参考になるので、視察研修に職員を行かせたい。  
**問** 紙製容器はプラスチックより重量がある。

分別せず可燃物処理に廻せば重量的に望ましいものではない。紙製容器のリサイクルに向け、再度啓蒙活動を。  
**答** 自治会に出向き啓蒙活動を推進したい。  
**問** 家庭用生ごみ処理機設置に対しての補助事業導入から約20年になる。導入された処理機の数300基を超えたが、ごみの減量化に必ずしも結びついていないのでは。  
**答** 購入後処理機が壊れたり、畑に埋めていた生ごみをコンポストにした家庭が多いなどの理由で、減量化に直接結びついていないと考えられる。  
**問** 処理機を購入した家庭への追跡調査はできないか。  
**答** 判る範囲で使用状況の調査をしたい。



ごみ減量化の対策と  
取り組みについて

倉科 栄司 議員

【住民課長】ごみの減量化に向け、実効ある取り組みを更に進める

AEDの設置状況と使用について

**問** 町内の公共施設のAEDの設置状況は。  
**答** 総合体育館の2台を含め、各公共施設で20台を設置している。使用事案は1件である。

**問** 社会体育で小・中学校の体育館を夜間、大勢の人が利用している。体育館に別に設置が必要ではないか。  
**答** 弓道場も含め、体育館には別に設置を検討する。

**問** いざという時スムーズな使用ができるよう、関係者への講習会を実施して欲しい。



可燃物収集日の集積所

専門学校開校予定の福祉会館



**問** 5年前に池田保育園が建設され、3年前に会染保育園検討委員会が建て替えの答申を出した。建設はいつになるのか。



## 会染保育園の建設はいつになるのか

服部 久子 議員

【教育長】保小中一貫した教育の取り組みを34年度にスタートし、統合も含め考える

**答** 町は、妊娠届から子育てアンケートを実施し、経済的悩みも対応しているので実態調査はしない。

**問** 池田保育園との環境の不公平感を払拭する手立てをとれないか

**答** 環境整備を進める。専門学校開設について

**問** 来年の専門学校開設に、福祉会館改修と県養護学校寮購入、改修に町税で立て替える方針だが、回収できる保証はあるか。

**答** 賃貸借契約で保証人を立て、契約履行を公文書にて依頼してある。

**問** 学校の評議員に行政や議員の代表を入れる考えだが、運営の一端を負つことにならないか。

**答** 評議員は、学校運営のチェック機関で歓迎すべきである。

**問** 子どもの貧困の実態調査を

**問** 県の子育て世帯の調査で4分の1が生活困難という結果が出た。町も効果的な子育て支援のために実態調査を。

**答** 町は、妊娠届から子育てアンケートを実施し、経済的悩みも対応しているので実態調査はしない。

**問** 給食費の無償化は全国83自治体で実施している。無償化を念頭に所得に応じた給食費や、第2子、第3子への減免ができないか。

**答** 要保護、準要保護世帯は、就学援助で対応している。無償化も軽減も財政的に困難である。

**問** 道徳教育について

**問** 国は、今年度から小学校、来年度から中学校に道徳教育を教科化し、評価の対象にした。子どもの自由な考えを制限しないか心配である。

**答** 検定教科書と副読本を使い数値評価はしない話し合い、考える道徳を実践する方針である。

**問** 国は、「家庭教育支援法」を考えているが、家庭に公が基準を持ち込むことにどう考えるか。

**答** 共働きや核家族で孤立する保護者に対し、行政の支援は大切である。



## 地域防災力を高めるため「防災士」の活用を

薄井 孝彦 議員

【町長】前向きに検討する

**問** 「防災士」は日本防災士機構が認めた防災力を高める意識と知識・技能を修得した人である。自主防災組織の補助金交付要綱に、「防災士」取得を加え、地域防災力の向上を図る考えは。

**答** 自主防災組織に多くの「防災士」が誕生すれば、防災力の向上に役立つ。前向きに検討する。

**問** 町職員についても「防災士」資格取得を。特に、防災担当職員に配慮して欲しいが。

**答** 防災担当職員が新しくなった場合は、「防災士」を取得させるよう配慮する。

**問** 避難所運営について、実務経験豊かな「防災士」による講演会の開催を。

**答** 本年度、防災講演会

を行う。「防災士」による講演会も視野に入れ、検討したい。

**問** 北海道の水道水源が外国人により買われ、社会問題となっている。広津中の貝・広津法道・陸郷木沢の3つの町水道水源を保全するために、「長野県豊かな水資源の保全に関する条例」を活用する考えはないか。

**答** 3水源は保安林、砂防指定地、地滑り防止区域に指定されており、土地取引や開発行為は把握指導できる。従って、県条例活用は考えていない。

**問** 保安林の土地売買には、町への届け出が必要な事などを町のホームページ

で啓発して欲しい。

**答** 啓発は必要と考える。

**問** ハーブセンター、ハーブ園の充実にもなる施策を

**答** ハーブセンター・トイレの全面改築を。

**問** 訪問者が楽しめるハーブ園への施策を。また、ハーブ専門家の雇用を。

**答** 施策は「花とハーブの里」ブランド化推進委員会にて検討していく。専門家は引き続き探す。



本年度改修対象となっているハーブセンター・県道東のトイレ

## 広域ワイン特区を取得した今、広域での連携をどう進めるのか

大出 美晴 議員

【町長】2市1町としてワイン醸造の振興を連携して進める



**問** ぶどう栽培も含め連携のメリットをしっかりと引き出し、併せて進め方を聞く。

**答** 大町市・安曇野市と「北アルプス・安曇野ワインバレー特区協議会」の設立に向け検討に入るところである。協議会設立により、ワイン用ぶどうの栽培技術向上、情報共有、またワイン醸造に関する情報共有も図られる。広報活動も可能となり、観光誘客に対する連携も図れる。

**問** ワイン祭りのあり方を問う。

**答** ワイン祭りは、町、観光協会、ワイン用ぶどう生産者、ワイナリー、商工会、大北農協で組織する「ワイン祭り実行委員会」で企画運営してきた。ワイン特区の合同記者会見において、大町市、安曇野市の市長・副市長より、連携が出来ればという話があった。このことを考慮し、「北アルプス・安曇野ワインバレー連絡協議会」設立の折には検討することを考える。

**問** ワイナリー建設実現に向けた町の施策は。

**答** 現在、ワイン醸造希望者が2名いる。そこで、町としての官設でのワイナリー建設は考えず、ワイナリー設置希望者への支援を行い、「ワインの町池田町」をPRして行きたい。ワイナリー希望者には6次産業化補助金等の説明・相談を行い、町としての独自の支援方法についても検討していく。

地域の子どもたちのスポーツクラブのこれからは

**問** 学校と地域の指導者が連携するその内容は。

**答** 指導する側は、部活動の枠が学校の外に広がることによって、指導の質も問われる。それを踏まえ、地域が中学校の部活動の受け皿となるには、行政はスポーツ活動の方向性を示すこと、各スポーツ団体との調整役を務めることが必要になる。

生徒のニーズや教職員、指導者の意向を把握し、学校と地域が協働・融合したスポーツ環境の整備を進めたい。



池田町産ぶどうのワイン試飲会



## 他地域に先がけた広報戦略の取り組みは

矢口 稔 議員

【総務課長】メール配信のジャンルを今後増やしていく

**問** 広報戦略について、情報化社会を乗り切るため、より効率的な広報について真剣に考える時代である。他地域に先がけた取り組みは。

**答** 登録制メール配信サービスは実施している。市町村が少ない。現在は、気象・地震・火災・安心安全情報のみだが、今後配信ジャンルを増やしていくため、現在作業を進めている。

**問** 毎月発行されている「広報いけだ」一つとっても、誰のための広報なのか、もう一度考えるときに来ていると思う。他市町村の広報紙は対外的なPRを積極的に取り入れている傾向にある。広報紙の考え方は。

**答** 現在の広報紙はどちらかというと、戦略的ではない。今後は、町外へ

の発信も重要なテーマであり、十分研究したい。

**問** 町民活動の広報をサポートセンターで検討する

**答** 町内のグループが催し物等の情報を発信する際、町民活動サポートセンターで支援できないか。

**答** 支援できるような検討していきたい。

**問** ラッピング町営バスアイデア募集は

**答** 過日、町営バス安曇野線の更新が決定された。はじめてのラッピング仕様とのことで、楽しみにしている方も多いと思う。町民の声、特に子どもたちの夢のあるアイデアなどを是非取り入れてほしいが。

携帯電話等に配信されているメールサービス



携帯電話等に配信されているメールサービス

**答** 今回は急な更新なのでデザイン募集は考えていない。今後は、事前に計画をして募集等を検討していきたい。

**問** 給付型奨学金は先進地事例を参考に研究

**答** ある調査によると学部大学生のうち、48.6%が何らかの奨学金を受けて大学に通っている。20年間に倍増している状況である。奨学金の大部分は給付では無く貸付であり、借金である。大町市では昨年度から給付型の奨学金が創設された。町の対応は。

**答** 現時点では定住促進等に効果があるかわからない。先進地の事例を参考に研究したい。



満足感が持てる高齢者の居場所づくりを

桜井 康人 議員

【健康福祉課長】地域支え合い推進員の配置で、集える場作りを進める

知るためのアンケートの実施を。

答 地域包括支援センターが地域支え合い推進員等と協力し、要支援者の一人暮らし高齢者世帯等に訪問し生活実態、二次把握調査を7月実施を目途に進めている。その中で状況把握し、今後の高齢者の居場所作りを検討する。

問 健康寿命延伸のために、民間の力を借りた高齢者の居場所づくりは。

答 池田町老人福祉計画の基本目標に「生き生き長寿のために」を掲げ、高齢者の生きがいづくり社会参加の促進、健康寿命の延伸を計画し、実施予定である。今後民間と連携を進める。

人口減少に伴う町政運営は

問 人口減少を容認し町の将来像は。

答 人口減少は財政面、住民一人あたりの借金等の指標上でも大きな影響がでる。総合計画ではあらゆるジャンルの政策により減少カテゴリーを穏やかに



自治会唯一の居場所

にする前向きな計画である。また、今回予算計上した公共施設個別計画策定のように、人口、財政規模を考えた指針を作り、総合計画とは別のところでも対策を練っていく。

地域の隠れた文化財について

問 地域の隠れた文化財を掘りおこし「世間文化財」として登録できないか。

答 来年度現図書館の二階を文化財管理施設にリニューアルする計画がある。そこに生活文化、伝統文化に関わる遺産地域の宝物を掘り起し、収集、展示し、広く町民に紹介していく。

5月臨時会

5月9日開会 議案3件を審議した

【議案】

池田町まちなかの賑わい拠点施設の指定管理者の指定について

《結果》全員賛成で可決

施設管理を、平成30年5月10日より平成33年3月31日までの間、「株池田にぎわい創造社」代表取締役・茅野雅彦氏に指定した。

【議案】

平成30年度池田町一般会計補正予算

《結果》全員賛成で可決

医療介護総合確保基金事業 3317万円  
財源  
県補助金 1700万円  
自治会協力金 1617万円  
高齢者支え合い拠点施設2か所(一丁目・和合地区)の整備に係る経費

【議案】

平成30年度池田町町営バス車両購入契約の締結について

《結果》全員賛成で可決

交通事故にあった車両を廃車とし新規に更新する。  
契約者 合同会社須沢モータース  
金額 760万7281円



新装される一丁目公民館

池田町立美術館  
新館長を訪ねて



新館長 倉科智幸氏

今年度から美術館長に就任された倉科智幸氏と懇談し、美術館の取り組みや抱負を伺った。

この美術館は、展望が素晴らしく安曇野に住んでいる方も知らない人がいる。もっと宣伝に力を入れて多くのお客さん呼びたい。

現在の入館者数は16,000人位だが目標数は20,000人。2回のモンスターマスク展は比較的好評だった。有名な作品展を企画してもお客が入らない時代とは言え、美術館運営は学芸員の力量に委ねられている。

美術館は25年経過し、老朽化も目立ち、入口の階段や天井などを修理した。新しい取り組みとして、学校の協力を得てさらに美術館が出むくことも考えたい。また、場所を整えて美術館で絵画教室なども考えているなど、熱き抱負を語られた。

町立美術館が指定管理となり、行政から手が離れた感がある。行政側も連携を密にし、定期的な話し合いがもたれることを求めたい。

松くい虫被害木  
伐倒駆除の現場から

町木でもある赤松の被害は東山一帯に広がっている。

基幹道路沿線の被害危険木の現状や、大北木材協同組合の中島地区での大掛かりな森林整備状況など、被害木対策前や対策中の現状を視察した。伐採木搬出道路の造成、伐採、搬出など、整備作業には危険が伴う重労働な現場である。

現在は町の予算範囲での対応であるが、今後、町と連携し国県に働きかけ、早期に東山の美観を取り戻すべく進めていきたい。



中島地区の作業現場

第6次総合計画策定町民アンケートをもとに

検証

…議会ではこれらのご意見を取りまとめ、行政に提言していきます…

提言

1 若者定住・子育て支援の町づくり

- 若者定住、子育て支援、少子高齢化対策に対して町の取り組みの促進を。

2 交通弱者対策の促進

- 交通の不便さについての意見が多くあり、安心安全に歩ける道路の整備、高齢者のための新たな交通手段などが重要な課題である。議会でもデマンドバスへの転換、タクシー券の交付など、公共交通のあり方の再検討やデマンド交通の調査を行う必要がある。

3 地震や土砂災害への防災対策の推進

- 避難所の設置や適正な運営。
- 行政だけでなく町民との協働により対応できる取り組みの促進。

4 景観や町づくりとしての空き家対策

- 廃屋等の解体撤去推進の意見が最も多い。
- 空き家、廃屋、街中の空き店舗についても最重要課題。
- 空き家、空き地をセットにして移住定住の促進を図る。

5 産業振興について

- 「シェアベースにぎわい」を中心にハープセンター、カモミールとタイアップして取り組む体制の確立を。

- ハーブセンターを町の顔として存続させるための改善点として、観光協会や商工会が一体で取り組む組織づくりを。また、ハーブ園エリアの増園やトイレの改修、駐車場の増設を。

- ワイナリーの早期実現のために、主体を決め、時期、場所、規模などを具体的に推進を。
- 東山の松くい虫被害木の対応を町がけん引して対応し、林業担当者や作業員の養成を。

6 教育関係について

- 学校活性化委員会が児童、生徒、保護者、教員のための委員会になっているのか再検討を。
- 会染保育園の建て替えは保護者、住民の声を聴き、その方向性を早期に提示を。
- 中学校部活動方針の提示を。
- 美術館、創造館の有効的活用と展望風呂の集客も合わせ、その取り組みを図る。
- 町立美術館(指定管理者)と行政との定期的な話し合いを行う。
- 地域交流センターのソフト面の利用について、もっと町民の声を聴いて早期に方針を。

# 食育推進特別委員会レポート



「和食の健康有益性について」の講演から 食育推進特別委員会委員 横澤 はま

健康長寿をめざし  
みんなで食育

委員会では、「健康長寿をめざし、みんなで食育」を重点目標の一つとして、ご飯(地元米)を主食とした和食文化の継承を掲げている。「和食の健康有益性について」東北大学大学院農学研究科・都築毅准教授の講演を聞いた。科学的な見地から日本人の健康長寿を招いた和食(日本型食生活)に対する理解と、和食文化の重要性を再認識した。

「飯・汁・菜(おかず)・香の物」が  
和食の基本

「飯・汁・菜(おかず)・香の物」の構成は、平安末期頃に成立し今なお続く和食の基本である。健康的な観点から、ご飯を中心に魚や肉など動物性食品中心の主菜と野菜・いも・豆類などを数種類組み合わせ合わせた副菜、具だくさんの汁があれば比較的簡単に栄養バランスが取れる。最もバランスがよかったのは、1975年頃の日本人の食生活。炭水化物、タンパク質、脂質からの摂取エネルギーがいずれも適正値で理想的だと評価された。これは伝統的な基本形を残しながら、肉や乳製品が適度に加わり、昔より飯を控え、菜が多いなどの変化が理由。

健康的な食生活への  
近道は…

現在は当時より脂質の摂取エネルギーが増加している。和食の基本形を大切にすることは、健康的な食生活への近道といえる。

- 1975年日本食は肥大化を抑制し肥満になりにくい。
- 日本型食生活は、要介護リスクが低下。
- 動脈硬化、糖尿病などの予防効果や慢性炎症疾患リスクの低下が期待された。
- 健康を維持するために多くの種類を少しずつ摂取。



豊富に含まれる食品群



日本食の特徴

## 議会運営委員会レポート

もっと身近な議会に！  
議会基本条例の検証を行っています

議会基本条例制定から5年が経過しようとしている。そこで、議会運営委員会では「池田町議会基本条例」の検証を行っています。さらに充実した議会運営や議員活動をするために、基本理念の再確認、論点・争点の明確化など検証が必要である。



学習会で切磋琢磨

こんなことを確認・検討しています！

- 会議公開原則の確認
- 各委員会活動の充実
- 自由討議の充実
- 意見交換会のあり方(民意を町政へ)
- 議員研修のあり方(自己研磨の機会を)
- 議会だよりのモニター制度等の充実  
(より身近に行政情報の提供を・より身近な議会活動を目指し)

### 専門学校誘致について説明を受ける

#### 説明

- 福祉会館に平成31年4月から開設したい。
- 経営主体は学校法人「日本アルプス国際学院(申請中)」
- システムエンジニア学科・福祉学科・日本語学科を置く。
- 生徒は主に日本語を学んだアジア圏(ベトナム)の留学生を受入れる。
- 評議員として行政と議会代表の選出を提言される。

#### 質疑・意見

- 学校設立に期待する。国際文化交流の場として、また、卒業後も地元で就業してもらえれば、産業の活力ともなり人口増につながる。
- 福祉会館改修費と県安曇養護学校寮の購入費と改修費を町が立て替える計画だが全額回収できるのか。
- 福祉会館で教室は足りるのか。
- 留学生はバイトの収入で授業料や生活費が賄えるか。
- 現在の福祉会館施設利用者が混乱しないよう、他の公的施設への円滑な利用移行に配慮を。



### 「信州やまほいく(自然型保育)」に学ぶ

講師 県民文化部次世代サポート課  
竹内 延彦 氏



日本の子どもの自己肯定感は、世界に比べて年齢が上がるほど低くなり、長野県では小学生は6割、中学生は5割、高校生は3割しかないとのこと。

池田町の認定こども園も「信州やまほいく」認定団体である。

自然や地域の環境を生かした活動を通して自己肯定感が向上する。

○幼児期の豊かな育ちに自然とのかかわりは不可欠

- 「子どもがまんなか」の保育・幼児教育
- 子どもにとっての「遊び」の大切さ
- 自然保育で“人生の根っこを育てる”
- 雄大な自然に抱かれながら心を開放

子どもひとりひとりの可能性をのびのび育てる信州の自然環境を生かした保育の可能性を学んだ。



わたしもほくも一人前

### 石川県志賀町議会 議会改革調査特別委員会 みなんさんが来町



石川県志賀町議会では議会基本計画を策定するにあたり、特別委員会を設置し調査を進められている。

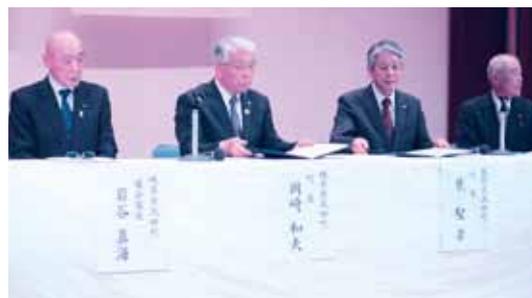
議会基本条例や、当議会がこの4月に策定した災害時議員行動指針について意見交換を行った。

特に、議員の成り手不足については、両町ともに深刻な課題としてその解決に取り組んでいる。

### 議会先進地視察研修を機に 岐阜県池田町との 災害時相互応援協定調印成る!!

池田町は、池田サミットが行われなくなって以来、他町との交流がほとんど行われていない。そこで、岐阜県池田町が3年程前に研修に見えたことから、振興文教委員会の先進地視察として、昨年11月に同町を訪問し意見交換を行った。今後、議員交流や同じ町名どうしの交流を推進する中で、まずは災害相互応援を策定し、助け合う事となった。

今年4月26日協定書の調印を行い、議会議員相互の交流もあわせて実現の運びとなった。



岐阜池田町との災害協定調印式

特集

「集う・買う・食べる・働く・学ぶ・遊ぶ」 まちなかの賑わい拠点施設

# シェアスペース・にぎわい



1階

## フリースペース・シェアキッチン

…集い・買い・食べ・遊ぶ…



お仲間ですっきり  
ティータイム



日替わりランチ  
あります  
食べに来て  
ください♡



〈ランチ営業時間〉  
午前11時30分から  
午後2時

各種の商品がにぎやかに並び、お買いもの楽しんで



(別棟)商品開発・農産物  
集荷出荷スペース

## コワーキングスペース・レンタルオフィス

…集う・働く・学ぶ…



コワーキングスペースで  
楽しく学ぶ



街中が一望  
ビュー  
ポイントです

- ◆町は地域再生計画で、まちの中心地にある空き店舗を新装し、指定管理者に「池田にぎわい創造社 代表・茅野雅彦氏」に指定し拠点施設を開設しました。
- ◆農商工業の連携・新規創業者創出・賑わい創出による、地域商業の活性化と文化人口増、買い物弱者・高齢者対策、移住定住促進を目標としています。

大勢のみなさんからご来場いただき、町の活性化を願うものです。

2階

## 議会報モニターさんに聞きました

### 議会報モニターさんにインタビュー

#### Q どんな議会報づくりを望まれますか？

議員のライフワークや読者からの投稿など、楽しく読める内容にしてください。行政の活動をより具体的に知らせる記事の編集を期待します。

#### Q 議会に願うことは何ですか？

人はみんな課題を解決しながら生活しています。その課題を一緒に解決していただければ嬉しいです。一般質問は、町民の意見（民意）を聞いて、提案型の質問が増えると良いですね。



石原孟さん(南台)

### 議会報モニターさんから寄せられたご意見

- ホットなニュースや写真などを取り入れ、読みやすく楽しい内容にして欲しい。
- 表紙の構成は、色分けや文字の太さなどよく工夫され読みやすいです。
- データや数値で具体的に示すと良いのでは。
- 議員の質問に対し、その後の成果についてトレースし、記事にしてほしい。
- 議員コラムの欄を設け、地方議会への関心を高めてはいかかが。

# シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第8回 —



よこやま ひろき  
横山 弘樹さん (林中)

## 略歴・活動内容

1978年9月生まれ 39才  
 ㈱ヴィニョブル安曇野 代表取締役  
 東京の大学卒業後、10年前にUターンで  
 池田町に戻りワイン用ぶどうを栽培する。

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。



剪定作業

自然あふれる池田町渡田見でメルシャン(株)との契約栽培により、ワイン用ぶどうのシャルドネ0.5haとメルロー1.6haを栽培し約18tを出荷しています。

また、去年より鶉山で3haの畑を増設し、一部をサツポロビル(株)と契約して残りを自家用に栽培しています。

畑は、両方共に標高600mの西日の良く当たる斜面にあり、水はけの良いワイン用ぶどうに適した場所にあります。

会社を設立したのは平成20年3月。町からの依頼もあり、養蚕の衰退と共に遊休農地となった桑畑の跡地にぶどうを作る決意をしました。それまでぶどう作りの経験はなく、試行錯誤しながらのスタートでした。

フランスの品種は非常に病気に弱く、基本的な防除層が示されていても、風土やその年の気候により防除を変える必要があるため、経験を次の年に活かせるように心がけています。

メルシャン(株)で醸造した自社ぶどう100%の安曇野メルロー・安曇野シャルドネが、嬉しいことに日本ワインコンクールで近年銀賞や銅賞を獲得しており、ぶどうの評価も上がって来ました。

今後の夢は、2年後位を目標に自家用(いづれとも契約していない)ぶどうを

使い、ワイナリーを建設して自社ブランドのワインを醸造することです。

白ワインは「ソーヴィニオン・ブラン」と「シャルドネ」、赤ワインは「メルロー」と「カベルネ・ソーヴィニオン」を主体としたワインを製造していきたいと思っています。

池田町にワイナリーが何軒か建設され、日本酒と共に、観光・レストラン・宿泊などと結び付き、町全体が今より活性化したら嬉しいと思います。

シャルドネぶどう畑



## 編集後記

「平成」という年号も最後の年となり、2018年も半年が過ぎました。60才を過ぎ、移り行く時間は変わらないのに、若い頃より大変早く過ぎ去っていくように思います。私だけでしょうか。

これから暑い夏がじわじわと迫って来ます。毎回、議会報編集にも熱が入ります。熱中症などに気を付けて、編集に臨んでいきたいと思えます。

(矢口新平)



議会報編集特別委員会  
 委員長 服部 久子  
 副委員長 横澤 はま  
 委員 矢口 新平  
 和澤 忠志  
 那須 博太

## 募ります!!

### 「町民のみなさんとの意見交換会」 開催について

池田町議会では、より身近な見える議会を目指して自治会・各種団体のみなさんとの意見交換会を開きます。

開催期間 10月1日～31日

お申込みは 8月末日までに。

後日、日程の調整をいたします。

池田町議会事務局

電話 62-9529 へお願いします。

**あなたの声を行政に届けませんか。**